栃木県原水協ニュース

No. １４８号　２０１５年１１月１日

原水爆禁止栃木県協議会
〒321-0138 宇都宮市兵庫塚３－１０－３０
栃木県労連気付　　電話 028-653-1401
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ： tcgken-gensuikyo@outlook.jp

関東甲信越ブロック原水協学校が開かれる

10 月 18、19 日千葉県で日本原水協関東甲信越ブロック原水協学校が開催されました。

18 日は、日本平和委員会調査研究員の紙谷敏弘さんが、「関東地域をめぐる米軍と自衛隊について」と題する報告があり、学習、討論を行いました。

◆日米軍事一体化の拠点が関東甲信越地域に 2010 年 5 月の日米安全保障協議委員会（２＋２）合意で、共同使用施設の拡大がきまり、その合意について、わずか 3 日間で、全国４７都道府県（330 カ所）に外務省、防衛省の職員が届けました。

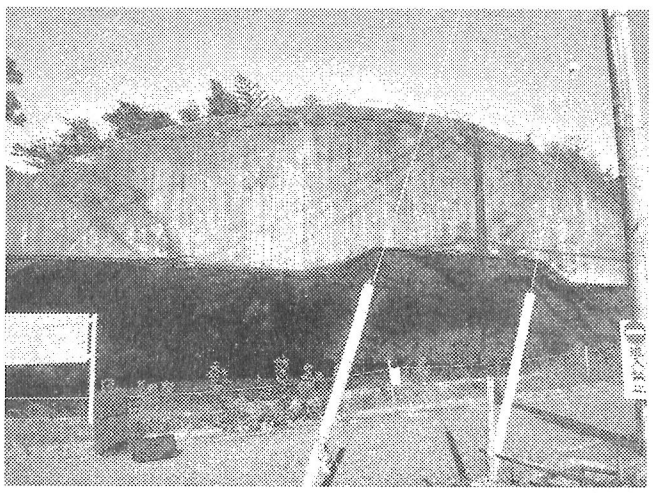
この 330 カ所に共通するのは、大型ヘリコプターが離発着できるスペースがあることなど、危険な実態が報告されました。

また、神奈川から横須賀、東京の横田基地の実態などが報告されました。

◆ 2 日目は、川田忠明日本原水協全国担当常任理事が「『核兵器のない世界』への展望と課題＝世界大会から国連総会へ」の学習をしました。

戦争法廃止運動と原水爆禁止運動、ＮＰＴ再検討会議の到達、第 70 回国連総会（第１委員会の議論と展望）などが詳しく報告されました。質問や各県の運動の取り組みも報告され、有意義な学習会でした。

帰りに茂原市に残されている「茂原掩体壕跡」を見学しました。　（大岩）



茂原・掩体壕（えんたいごう）とは

茂原市には、戦時中海軍の航空隊があり、随所に掩隊壕が造られ（「零戦」の格納場所）現存するもので 13 カ所あるとのことです。田んぼの中や道路の脇にあります。屋根部は草木で掩われ、コンクリートで造られていますが、一部に鉄筋が使われていますが、竹が使われなど、当時の状況が伝わってきます。

核兵器のない世界の子どもたちに
いわさきちひろカレンダー
１，４００円＋税

署名到達数（10 月 15 日現在）
２３，５２０筆

ふたば健康まつりで原爆展ひらく

１０月２５日に医療生協ふたば診療所で開かれた健康まつりに、宇都宮原水協も参加しました。

まつりは、４０回目。晴れ渡った日和に、組合員や地域の住民など約８５０人が参加しました。

宇都宮原水協は原爆パネル「戦争と人間」を展示し、「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名を集め、羽ばたくハトの折り方教室を開きました。

会場では、参加者が「折り方がむずかしいね」などと話しながら、熱心に「羽ばたくハト」に挑戦。親子連れなどが、熱心に展示したパネルに見いっていました。

原水爆禁止栃木県協議会
第40回定期総会

とき　11月21日（土）午後2時から
（1 時 30 分開場）

ところ　壬生町南犬飼公民館講堂

第１部　講演
「ＮＰＴ再検討会議と今度の核兵器廃絶の取り組みについて」
講師　高草木博　原水爆禁止日本協議会代表理事

第２部　総会